

日本青年心理学会ワークショップ 高校生の今を知ろう

企画：日本青年心理学会研究委員会 共催：桐蔭横浜大学

日時

3/26
14:00-16:30

会場

桐蔭横浜大学
神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614

対象者：青年心理学会員に限らず、どなたでも参加可能

参加費：無料

高校生を取り巻く状況は大きな転換期を迎えています。例えば、成人年齢が18歳に引き下げられ、高校3年生の一部は高校在学中に「成人」になることとなります。また、大学入試においては総合型選抜・学校推薦型選抜といった一般選抜以外での入試方式での大学進学が中心になり、探究的な学習や課外活動での成果を自ら表現することが求められ、「経験重視の評価」として世間では議論がされています。

新型コロナウイルスの流行が始まり3年経過し、世界のありかたが大きく変化してきました。そのなかで、日常生活においては、直接物事に触れる機会、場所を訪れ、人と接する機会が少なくなり、これまでの世代とは全く異なる経験をもつ高校生が大学生になってきています。

そこで本ワークショップでは、青年期を対象として研究する者として、「高校生のいま」を3名の先生の話題提供とともに、ワークショップ形式で参加者の先生方と考えてみたいと思います。私たちが経験してきた高校生活と、どこが変わったのか、現代の高校生がなにに悩んでいるのか、そして研究者として私たちは高校生をどのように見つめていけばよいのか、その一助になることを期待しています。

タイムテーブル

- 14:00～14:05 開会挨拶および企画趣旨説明
- 14:05～15:20 話題提供（各25分）
- 15:20～15:30 指定討論
- 15:30～16:25 グループ討議および発表
- 16:25～16:30 閉会挨拶

登壇者

- 話題提供者：溝上慎一（桐蔭学園）
- 話題提供者：日野田昌士（聖学院中学校・高等学校）
- 話題提供者：神崎真実（立命館大学）
- 指定討論者：山口昌澄（高田短期大学）
- 司会者：溝口侑（桐蔭横浜大学）

同日開催

若葉マーク企画第1弾

11:00-13:00



青年心理学会は、「青年心理学」にコミットする人たちの集まりですが、大会、機関誌への論文投稿といった表立った学会活動に参加していない会員も多く、会員同士が広く交流できていないのが現状です。このような現状をふまえ、この度「若葉マーク企画」と題し、「青年心理学（会）」について思いや考えを深め、共有する機会を設定いたしました。新規入会を考える方、新会員の方、学会での活動実績（実感）の少ないペーパー会員の方など、ご自身が「若葉マークだ」と思う方ならどなたでも参加可能です。

経験者の話題提供もいただきながら論文投稿について考える前半、「青年心理学（会）」についてざっくばらんに意見交流する後半の2部構成で進行いたします。

登壇者

- | | | | |
|----------|---------------|-------------|----------------|
| 第1部話題提供者 | ：小塩真司（早稲田大学） | 第1部コーディネーター | ：川上知子（長崎国際大学） |
| 第1部話題提供者 | ：峰尾菜生子（岐阜大学） | 第2部コーディネーター | ：川島一晃（相山女学園大学） |
| 第1部話題提供者 | ：岩佐康弘（梅光学院大学） | 総合司会 | ：中山留美子（奈良教育大学） |

お申し込み

参加ご希望の方は、右のQRコードから事前に参加申し込みをしてください。
申し込み期限：2023年3月25日（土）13:00まで

お申し込みは
こちらから



お問い合わせ

【日本青年心理学会研究委員会】
桐蔭横浜大学 教育研究開発機構 溝口侑 (y.mizoguchi[at]toin.ac.jp)

<https://forms.gle/de5PwGmkyrPaY41Z7>